ICTと連携した学校図書館教育

あわら市金津中学校

活用目的	情報活用能力の育成			

本事例のねらい	計画的な図書館教育を推進することでICT情報活用能力の育成を図る

本事例の概要 （学校図書館等を活用した項目に★印）

学校司書・図書館教育担当者・司書教諭・教職員が連携し読書活動の活性化、探究的な学習の支援、ICT情報活用能力の育成を柱として、年間を通じた計画的な図書館教育を推進している。
生徒がさまざまな場所から本に触れるきっかけを得ることができるようにするために、蔵書検索システム「カーリル」を導入、宣伝活動を行い、自分のタブレットから図書館に来る前や自宅でも図書館にある本を検索できるサービスを導入し、活用している。
また、「Google Classroom」で新刊やおすすめの本の紹介を行ったり、学校図書館のホームページに「BOOK4U」というAIによる選書のためのURLや「bookface」という魅力的なジャケットから本を選べるウェブサービスのURLをリンクさせたりしている。

カーリルの画面	Classroomを用いた本の紹介
	

本事例に関わった人（いる場合は○を選択してください）			実践のポイント
○	学校司書		Google Classroomで本の紹介をすることで、生徒たちがその本を目当てに図書館に訪れる機会を増やすことができる。 ホームページをきっかけとして、本を探すために図書館を訪れる生徒も増やすことができる。
○	司書教諭		
○	その他の学校職員		
	ボランティア		
	公共図書館職員	左の具体的内容を選択してください	
	その他	（その他の具体的内容を入力してください）	

資料	